



35歳

川内たかゆき後援会便り

元気みなぎる通信

2017
春号

川内たかゆき後援会

〒889-1802 宮崎県都城市山之口町花木 2253-6
TEL・FAX：0986（77）5298

《任期最期の年》

陽春の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より、川内たかゆき並びに後援会に対し多大なるご支援を頂き誠にありがとうございます。

市議会議員として早いもので4年目に入り、任期最期の年となりました。これまで「元気みなぎる都城」を目指して取り組んでまいりましたが、まだまだ先は長いと感じております。活動をしていく中で市民の皆様から頂く御意見、御要望にいかにかスピード感を持って対応できるか、キャッチボールはしっかりできているかなど自問自答の日々を送っております。

これまでも、様々な場面で市民の皆様のもとへ足を運び、その声に耳を傾けてまいりましたが、まだまだ足りません。「百聞は一見に如かず」、常に現場に足を運び、考え、提案していくことを念頭に今後も活動してまいります。

到らぬ点が多いですが、今後も引き続きの御指導、御支援を宜しくお願いいたします。



◎平成29年度一般会計当初予算成立

2月27日から3月23日まで3月議会が行われ、新年度の予算と各種事業を審議、採決いたしました。

一般会計当初予算総額は**804億6000万円**（前年比1.7%増）となりました。これまで同様、都城のもつ3つの宝をより一層輝かす予算として「農林畜産業の振興」「地の利の活用」「人間力あふれる子どもたちの育成」に引き続き予算が組まれています。また、「肉と焼酎のふるさと」対外PRや市民サービスの更なる向上についても事業化されています。

《これまでの議員活動に関連する予算について》

◇農林畜産業振興事業「トラサポ事業」「再造林推進事業」

本市の基幹産業である**農林畜産業の未来をしっかりと見据えた対応をとることを、これまで議員活動や一般質問等を通じて提案**してきました。今回、昨年の農業後継者等支援事業に続き、新規就農者の基盤整備をサポートする軽トラなどの購入助成事業が決まりました。また、森林伐採後の再造林がされない問題についても、**再造林推進事業**として事業化されました。今後も基幹産業である農林畜産業を支援していけるよう働きかけを行ってまいります。

◇子ども子育て支援事業「乳幼児医療費助成事業」「小規模保育所推進事業」

子ども・子育て支援についても、これまでの活動や一般質問を通じて行政側へ**問題指摘や支援拡充を提案**してきました。これまで乳幼児医療費助成については0歳～4歳350円、5歳～6歳（未就学）800円だったため、**負担バラツキの解消を提案**し、**27年度より乳幼児一律350円、入院無料に拡充**。今回は、さらに**通院費についても無料**へと拡充されました。あわせて、**年度途中からの入園がしづらい状況の解消も提案**しており、**昨年2箇所に加え新たに3箇所の小規模保育所が追加**されることになりました。今後も子育て支援環境のより一層の充実に向け働きかけを行ってまいります。

◇観光産業振興事業「肉と焼酎のふるさと都城」PRによる観光振興

観光産業については、基幹産業である農林畜産業に並ぶ産業になりうるとして、これまでの活動や一般質問を通じて**本気の取組を提案**してきました。今回、ふるさと納税にみる「肉と焼酎のふるさと都城」の成功を活かした観光ツアーや企画旅行商品に対する助成が「**ミートツーリズム推進事業**」として事業化されました。まだまだ、一大産業となるには程遠い状況ですが、あらたな都城、元気みなぎる都城にむけて観光産業の振興についても引き続き働きかけを行ってまいります。

平成29年 3月議会 一般質問

◎台湾からの観光客誘致について

- 問台湾トップセールスの成果。
- 問本市の観光PR内容と台湾側のニーズについて。
- 問団体・個人観光客に応じた観光対策について。
- 問今後の取組について。

《質問の意図》

観光産業は本市の基幹産業になりうる産業である。今回、2月に行われた市長のトップセールスによる台湾からの観光客誘致について今後の対応を含めて質問。



◎学校の現状と存続について

- 問 100名以下の小中学校はどれくらいあるのか。
- 問 複式学級となっている学校の数は。
- 問 少人数学校を抱える地域のニーズは把握しているのか。
- 問 今後の統廃合等についてどのように考えていくのか。

《質問の意図》

平成29年3月31日をもって休校することになった御池小学校の現状を踏まえ、市内の小中学校の現状について確認。文部科学省が平成27年1月に出した「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置などに関する手引き」との兼ね合いも含めて今後の教育委員会の考えを質問。



◎コミュニティバスの充実について

- 問 コミュニティバスの現状について。
- 問 平成26年度に策定された「都城市地域公共交通総合連携計画」について。
- 問 公共交通機関の利用者の現状について。
- 問 公共交通不便地域や住民の高齢化を踏まえた今後の対策について。

《質問の意図》

中山間地域でコミュニティバスが導入される一方、街中や導入地域に隣接する地域との交通格差が出てきている。地域住民ニーズをしっかりと把握し細かな対応を提案するため質問。



《最近の活動報告》



【元旦 街頭挨拶】



【山之口新春マラソン】



【山之口成人式 来賓祝辞】



【和牛セリ 都城家畜市場】



【市町村議会議員研修派遣 滋賀】



【自衛隊海賊討伐 激励見送り】



【乳牛 B&Wショー】



【わけもんの主張 県大会】



【消防団活動】



【要望活動 ガードレール設置】



【要望活動 道路劣化・振動調査】



【南方神社 春祭り】